

三サの式次第

ver.20221103

開祭

入祭の歌と行列

会衆が集まると入祭の歌を歌う。その間に、司祭は奉仕者とともに祭壇へ行く。

祭壇の表敬と会衆へのあいさつ

祭壇に着くと、司祭は奉仕者とともに手を合わせて深く礼をする。続いて、司祭は祭壇に近づき、両手で祭壇に触れながら深く礼をして祭壇に表敬する。必要に応じて十字架と祭壇に献香する。その後、司祭は奉仕者とともに席に行く。入祭の歌が終わると、司祭は会衆に向かって次のことばを唱え、司祭と信者は立ったまま自分に十字架のしるしをする。

司祭 父と子と聖霊のみ名によつて。

会衆 アーメン。

続いて、司祭は手を広げて会衆にあいさつする。

司祭 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。
会衆 またあなたとともに。

または

父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が皆さんとともに。
またあなたとともに。

または

主は皆さんとともに。
またあなたとともに。

司祭、あるいは助祭または他の奉仕者は、簡潔なことばでその日のミサについて信者に説明
することができる。

回心の祈り

司祭は典礼暦に合わせて、たとえば次のようなことばで信者を回心へと招き、
一同は回心の祈りを唱える。

主日、とくに復活節の主日には、通常の回心の祈りに代えて、洗礼の恵みを思い起こすために
「水の祝福と灌水」（115ページ参照）を行うことができる。

司祭

皆さん、聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、
ゆるしを願いましょう。

または

皆さん、わたしたちの罪を思い、感謝の祭儀を祝う前に
心を改めましょう。

または

皆さん、救いの神秘をふさわしく祝うことができるよう、
わたしたちの生活を振り返り、心を改めましょう。

または（年間に）

皆さん、ふさわしい心で神に賛美と感謝をささげることができるよう、
わたしたちの過ちを認め、ゆるしを願いましょう。

または

皆さん、救いの神秘をふさわしく祝うことができるよう、
わたしたちの生活を振り返り、心を改めましょう。

または（年間に）

皆さん、ふさわしい心で神に賛美と感謝をささげることができるよう、わたしたちの過ちを認め、ゆるしを願いましょう。

または（待降節に）

皆さん、救い主を遣わしてくださる神のいつくしみを思い、心を改めましょう。

または（降誕節に）

皆さん、父である神は、御子を救い主としてお与えになりました。この神秘を喜びのうちに祝うことができるよう、心を改めましょう。

または（四旬節に）

皆さん、父である神は、回心して立ち返る人を喜んで迎えてくださいます。神の深い愛を思い、罪のゆるしを願いましょう。

または（復活節に）

皆さん、主イエスの復活の栄光を思い、わたしたちも日々新しい人になることができるよう願いましょう。

・回心の祈りー

短い沈黙の後、一同は手を合わせ、頭を下げて、一般告白の式文を一緒に唱える。

司祭 全能の神と、

一同 兄弟姉妹の皆さんに告白します。

わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。
聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟姉妹の皆さん、
罪深いわたしのために神に祈ってください。

続いて、司祭は罪のゆるしを祈る。

司祭 全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、

永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

：回心の祈り二

司祭は信者を回心へと招く。典礼暦に合わせた招きは●ページ参照。

司祭 皆さん、聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、ゆるしを願いますよう。

短い沈黙の後、司祭は次のように唱える。

司祭 主よ、あわれみをわたしたちに。

会衆 わたしたちはあなたに罪を犯しました。

司祭 主よ、いつくしみを示し、

会衆 わたしたちに救いをお与えください。

続いて、司祭は罪のゆるしを祈る。

司祭 全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、

永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

…回心の祈り三

司祭は信者を回心へと招く。典札曆に合わせた招きは●ページ参照。

司祭 皆さん、聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、
ゆるしを願いますよう。

短い沈黙の後、司祭、あるいは助祭または他の奉仕者は、聖書の朗読箇所や典札曆に合わせて、次のようなことばを先唱し、会衆は「主よ、いつくしみをわたしたちに」、「キリスト、いつくしみをわたしたちに」を唱える。

先唱 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 罪びとを招くために来られたキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 父の右の座にあって、わたしたちのためにとりなしてください主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

待降節一（第一主日から12月16日まで）

先唱 闇にさまよう民を救うために来られる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 光として世に来られるキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 すべてを新たにするために再び来られる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

待降節二（12月17日から12月24日まで）

先唱 洗礼者ヨハネを通して回心を呼びかけてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 聖霊によつておとめマリアに宿られたキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 救いの喜びをもたらしてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

降誕節一

先唱 おとめマリアからお生まれになった主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 人類を救うために人となられたキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 わたしたちのうちに住まわれた主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

降誕節二

先唱 飼い葉桶に眠られる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 羊飼いにご自分を示されるキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 真理を求める人を星によって導かれる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

四旬節一

先唱 荒れ野で祈り、誘惑に打ち勝たれた主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 わたしたちのために苦しみを受けられたキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 罪びとのためにいのちをささげてくださいました主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

四旬節二（洗礼志願者とともに）

先唱 飢え渴く人にいのちの水を与えてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 信じる人の心を開いてくださるキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 ご自分に従う人を、永遠のいのちに導いてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

復活節一

先唱 エマオへの道をとともに歩まれた主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 聖書をひもとき、弟子たちを力づけてくださったキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 パンを裂き、与えてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 よ、いつくしみをわたしたちに。

復活節二

先唱 羊の名を呼び、緑の牧場に導いてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 ご自分の羊のためにいのちをささげてくださいるキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 迷った羊を群れに連れ戻してくださいる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

年間一

先唱 御父への道である主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 真理のことばであるキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 永遠のいのちである主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

年間二

先唱 重荷を負う人を招いておられる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 柔和で謙遜なキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 疲れた人を休ませてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

年間三

先唱 すべての人を御父の家に立ち返らせてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 罪をゆるし、分裂の痛みをいやしてくださるキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 互いにゆるし合う力を与えてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

年間四

先唱 御父の愛を示してください。主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 わたしたちを友としてくださるキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 苦しむ者とともにいてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

続いて、司祭は罪のゆるしを祈る。

司祭

全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、

永遠のいのちに導いてくださいますように。

司祭

アーメン。

いつくしみの賛歌（キリエ）

いつくしみの賛歌（キリエ）が続く。「回心の祈り三」を用いた場合は省く。

(一)

先唱 主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 キリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

(二)

先唱 キリエ、エレイソン。

会衆 キリエ、エレイソン。

先唱 クリステ、エレイソン。

会衆 クリステ、エレイソン。

先唱 キリエ、エレイソン。

会衆 キリエ、エレイソン。

栄光の賛歌（グロリア）

規定に従って、一同は栄光の賛歌（グロリア）を歌うかまたは唱える。

天には神に栄光、

地にはみ心にかなう人に平和。

神なる主、天の王、

全能の父なる神よ。

わたしたちは主をほめ、

主をたたえ、

主を拝み、

主をあがめ、

主の大きいなる栄光のゆえに感謝をささげます。

主なる御ひとり子イエス・キリストよ、

神なる主、神の小羊、父のみ子よ、

世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く主よ、わたしたちの願いを聞き入れてください。

父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。

ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、

イエス・キリストよ、

聖霊とともに父なる神の栄光のうちに。

アーメン。

集会祈願

栄光の賛歌（グロリア）が終わると、司祭は手を合わせたまま言う。

司祭 祈りましょう。

一同は司祭とともにしばらく沈黙のうちに祈る。

続いて、司祭は手を広げて集会祈願を唱え、会衆は結びにはっきりと唱える。

会衆 アーメン。

ことばの典礼

第一朗読

朗読者は朗読台に行き、第一朗読を行う。その間、一同は着席して聞く。
朗読の終わりを示すため、朗読者は手を合わせてはつきりと唱える。

朗読者 神のみことば。

一同 神に感謝。

続いて、朗読者は聖書に一礼して席に戻る。
一同は沈黙のうちに、神のことばを味わう。

答唱詩編

詩編唱者あるいは先唱者は、詩編を歌唱または朗唱し、会衆は答唱をもって答える。

第二朗読

その後、第二朗読が行われる場合、朗読者は第一朗読と同じように朗読台から朗読する。
朗読の終わりを示すため、朗読者は手を合わせてはつきりと唱える。

朗読者 神のみことば。

一同 神に感謝。

続いて、朗読者は聖書に一礼して席に戻る。
一同は沈黙のうちに、神のことばを味わう。

アレルヤ唱(詠唱)

続いて一同は起立し、アレルヤ唱、あるいは典礼季節に応じて典礼注記によって定められた他の歌を歌う。

福音朗読の準備

献香をする場合、司祭は歌の間に香炉に香を入れる。
その後、福音を告げる助祭は司祭の前で深く頭を下げ、小声で祝福を願う。

助祭 祝福をお願いいたします。

司祭は小声で言う。

司祭 福音をふさわしく告げるため、主があなたの心と口を祝福してくださいように。
✠父と子と聖霊のみ名によって。

助祭は自分に十字架のしるしをしながら答える。

助祭 アーメン。

助祭がない場合、司祭は祭壇の前で頭を下げ、静かに唱える。

全能の神よ、聖なる福音をふさわしく告げるため、わたしの心と口を清めてください。

福音の崇敬と朗読

その後、助祭あるいは司祭は朗読台に行く。必要に応じて、香炉と火をともしたらうそくを持つ奉仕者が先導する。助祭あるいは司祭は言う。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 ○○○による福音。

そのとき、助祭あるいは司祭は、朗読福音書、額、口、胸に十字架のしるしをする。会衆ははつきりと唱える。

会衆 主に栄光。

賛美の応唱

助祭あるいは司祭は必要に応じて朗読福音書に献香し、福音を告げ知らせる。

福音朗読が終わると、助祭あるいは司祭は朗読福音書を両手で掲げてはつきりと唱える。

司祭 主のみことば。

一同 キリストに賛美。

あるいは司祭は静かに唱える。

福音のことばによって、わたしたちが罪から清められますように。

説教

続いて、すべての主日と守るべき祝日には、司祭あるいは助祭によって説教が行われなければならない。他の日にも勧められる。

信仰宣言

説教の後、すべての主日と祭日、およびより盛大に祝われる特別な祭儀に、一同は

ニケア・コンスタンチノープル信条、あるいは使徒信条と呼ばれるローマ教会の洗礼信条を、歌うかまたは唱えて信仰宣言を行う。

ニケア・コンスタンチノープル信条

わたしは信じます。唯一の神、
全能の父、

天と地、見えるもの、見えないもの、
すべてのものの造り主を。

わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。

主は神のひとり子、

すべてに先立って父より生まれ、

神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、

造られることなく生まれ、父と一体。

すべては主によって造られました。

主は、わたしたち人類のため、

わたしたちの救いのために天からくだり、

以下、「人となりました」まで一同は礼をする。

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、
人となられました。

ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、葬られ、

聖書にあるとおり三日目に復活し、天に昇り、父の右の座に着いておられます。

主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。その国は終わることがありません。

わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。聖霊は、父と子から出て、

父と子とともに礼拝され、栄光を受け、また預言者をおして語られました。

わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。罪のゆるしをもたらず唯一の洗礼を認め、

死者の復活と

来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

使徒信条

天地の創造主、
全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主
イエス・キリストを信じます。

以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。

主は聖霊によつてやどり、
おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、
陰府に下り、
三日目に死者のうちから復活し、
天に昇つて、
全能の父である神の右の座に着き、
生者と死者を裁くために来られます。

聖霊を信じ、
聖なる普遍の教会、
聖徒の交わり、
罪のゆるし、
からだの復活、
永遠のいのちを信じます。アーメン。

共同祈願（信者の祈り）

続いて、共同祈願すなわち信者の祈りを行う。

感謝の典礼

祭壇の準備

ことばの典礼が終わると、奉納の歌が始まる。その間、奉仕者は、コルボラーレ、プリファイカトリウム、カリスとパラ、ミサ典礼書を祭壇に準備する。

奉納行列

信者は、感謝の祭儀のためのパンとぶどう酒、また、教会と貧しい人を助けるためのその他の供えものをささげることを通して、自らの参加する心を表すことが勧められる。

パンとぶどう酒を供える祈り

司祭は祭壇に行き、パンを載せたパテナを取り、両手で祭壇上に少し持ち上げ、次の祈りを小声で唱える。

司祭

神よ、あなたは万物の造り主。

ここに供えるパンはあなたからいただいたもの、

大地の恵み、労働の実り、

わたしたちのいのちの糧となるものです。

司祭はパンを載せたパテナをコルポラーレの上に置く。
奉納の歌を歌わない場合、司祭はこの祈りをはっきりと唱えることができる。その場合、結びに会衆は**はっきりと唱えることができる**。

会衆
神よ、あなたは万物の造り主。

助祭または司祭は、ぶどう酒と少量の水をカリスに注いで**静かに唱える**。

この水とぶどう酒の神秘によってわたしたちが、
人となられたかたの神性にあずかることができますように。

司祭はカリスを取り、**両手で祭壇上に少し持ち上げ、次の祈りを小声で唱える**。

司祭
神よ、あなたは万物の造り主。

ここに供えるぶどう酒はあなたからいただいたもの、
大地の恵み、労働の実り、
わたしたちの**救いの杯**となるものです。

司祭はカリスをコルポラーレの上に置く。

奉納の歌を歌わない場合、司祭はこの祈りをはっきりと唱えることができる。その場合、結びに会衆は**はっきりと唱えることができる。**

会衆
神よ、あなたは万物の造り主。

その後、**司祭は深く頭を下げ、静かに唱える。**

神よ、心から悔い改めるわたしたちが受け入れられ、
きょう、み前に供えるいけにえも、み心にかなうものとなりますように。

献香

必要に応じて、供えものと十字架と祭壇に献香する。
その後、助祭または他の奉仕者が司祭と会衆に献香する。

清め

続いて、司祭は祭壇の脇で手を洗い、**静かに唱える。**

神よ、わたしの汚れを洗い、罪から清めてください。

司祭は祭壇の中央に立ち、会衆に向かって手を広げ、次の招きのことばを述べてから手を合わせる。

司祭

皆さん、ともにささげるこのいけにえを、

全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。

会衆

神の栄光と賛美のため、

またわたしたちと全教会のために、

あなたの手を通しておささげするいけにえを、

神が受け入れてくださいますように。

一同はその後、しばらく沈黙のうちに祈る。

奉納祈願

続いて、司祭は手を広げて奉納祈願を唱え、会衆は結びにはっきりと応唱する。

会衆

アーメン。

奉献文（エウカリスティアの祈り）

続いて、司祭は奉献文を始める。

司祭は手を広げて唱える。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭は手を挙げて唱える。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭は手を広げたまま唱える。

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

叙唱

司祭は手を広げたまま叙唱を唱える。叙唱の本文中の（です）は、歌う場合には省く。

感謝の賛歌（サンクトゥス）

叙唱の終わりに司祭は手を合わせる。そして、会衆とともに感謝の賛歌（サンクトゥス）を歌うか、はっきりと唱えて叙唱を結ぶ。

一同 聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によつて来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

すべてのミサにおいて、司式司祭が、奉献文の旋律のつけられた部分、特に主司式の部分を歌うことができる。

第一奉献文（ローマ典文）

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとうと大切な務め（です）。

典札注記に従って叙唱が続き、その結びに感謝の賛歌（サンクトゥス）を歌う。

一同 聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

司祭は手を広げて唱える。

いづくしみ深い父よ、

御子わたしたちの主イエス・キリストによって、

いまつつしんでお願いいたします。

手を合わせる。

そして、パンとカリスの上に十字架のしるしをしながら唱える。

この汚れのない聖なるささげものを受け入れ、✠祝福してください。

手を広げて続ける。

わたしたちは、まず聖なる普遍の教会のために、

これをあなたにささげます。

全世界に広がる教会に平和を与え、これを守り、

一つに集め、治めてください。

教皇○○○○、

わたしたちの司教○○○○、（補佐司教の名を加えることができる）

また、使徒からの普遍の信仰を正しく伝える

すべての人のためにこの供えものをささげます。

生者のための祈り

聖なる父よ、あなたに信頼する人々（○○○○）を心に留めてください。

手を合わせ、祈りをささげようとする人のためにしばらく祈る。

その後、手を広げて続ける。

また、ここに集うすべての人を心に留めてください。

その信仰と敬虔な心をあなたはご存じです。

わたしたちとすべての親しい人々のためにこの賛美のいけにえをささげ、

あがないと救いと平穩を願って、

永遠のまことの神、あなたに祈ります。

全教会の交わりの中で、

わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、

栄光に満ちた終生おとめマリアを思い起こし、

聖ヨセフ、

使徒と殉教者、

ペトロとパウロ、アンデレ、

（ヤコブ、ヨハネ、トマス、ヤコブ、フィリポ、

バルトロマイ、マタイ、シモンとタダイ、
リノ、クレト、クレメンズ、シスト、
コルネリオ、チプリアノ、ラウレンチオ、クリソゴノ、
ヨハネとパウロ、コスマとダミアノ）
そして、すべての聖人を思い起こします。
彼らのいさおしと取り次ぎによって、
わたしたちをいつも守り強めてください。

手を合わせる。

（わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。）

「全教会の交わりの中で、…」に加える固有式文

主の降誕とその八日間中

全教会の交わりの中で、わたしたちは、
汚れのないおとめマリアによって

世に救い主が与えられたこの聖なる夜（日）を祝います。
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

主の降誕の夜半のミサには「この聖なる夜」、
その後は、主の降誕の八日目まで「聖なる日」と唱える。

主の公現

全教会の交わりの中で、わたしたちは、
栄光のうちにあなたとともに永遠の神であるひとり子が、
まことの人間として、

見えるからだをもつて現れたこの聖なる日を祝います。
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

主の晩さんの夕べのミサ

全教会の交わりの中で、わたしたちは、
主イエス・キリストが、

わたしたちのために渡されたこの聖なる日を祝います。
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

復活徹夜祭から復活節第二日まで

全教会の交わりの中で、わたしたちは、
主イエス・キリストが、
まことに復活されたこの聖なる夜（日）を祝います。

わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

復活徹夜祭のミサには「この聖なる夜」、その後、復活節第二主日までは「聖なる日」と唱える。

主の昇天

全教会の交わりの中で、わたしたちは、
御ひとり子が人となり、

わたしたちの弱さを身に受けて、

あなたの栄光の右の座に高めてくださったこの聖なる日を祝います。

わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

聖霊降臨

全教会の交わりの中で、わたしたちは、
聖霊が使徒たちの上に

炎の舌のような形で現れたこの聖なる日を祝います。

わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

手を広げて続ける。

聖なる父よ、

わたしたち奉仕者とあなたの家族のこの奉獻を受け入れてください。

あなたの平和を日々わたしたちに与え、

永遠の滅びから救い、選ばれた者の集いに加えてください。

手を合わせる。

(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

「わたしたち奉仕者とあなたの家族…」に加える固有式文

復活徹夜祭から復活節第二日まで

聖なる父よ、

わたしたち奉仕者とあなたの家族のこの奉獻を受け入れてください。

水と聖霊によって新しく生まれ、

すべての罪のゆるしを受けた人々のためにもこれをささげます。

あなたの平和を日々わたしたちに与え、

永遠の滅びから救い、選ばれた者の集いに加えてください。

手を合わせる。

(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

供えものの上に手を伸べたまま唱える。

神よ、この供えものを祝福し、受け入れ、

み心になうまことのいけにえとしてください。

わたしたちのために、最愛のひとり子、

主イエス・キリストの御からだと御血になりますように。

手を合わせる。

次の式文中の主のことばは、その意味が伝わるように、特にはっきりと唱える。

歌う場合は、(である)を省く。

主イエスは受難の前夜、

パンを手に取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

聖なる手にパンを取り、

少し視線を上げる。

全能の父、神であるあなたを仰ぎ、

賛美と感謝をささげ、裂いて、

弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される

わたしのからだ（である）。」

聖別されたホステイアを会衆に示した後、パテナの上に置き、手を合わせて深く礼をする。

そして続ける。

食事の後に同じように、

カリスを取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

聖なる手に、このとうとい杯を取り、
賛美と感謝をささげ、

弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを受けて飲みなさい。

これはわたしの血の杯、

あなたがたと多くの人のために流されて

罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（である）。

これをわたしの記念として行いなさい。」

カリスを会衆に示した後、コルポラーレの上に置き、手を合わせて深く札をする。

続いて、司祭は唱える。

司祭 信仰の神秘。

会衆は以下のいずれかのことばをはつきりと唱える。

会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。

再び来られるときまで。

または

主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、
わたしたちをお救いください。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父よ、

わたしたち奉仕者と聖なる民も、

いま、御子わたしたちの主キリストのとうとい受難、

死者のうちからの復活、

栄光に満ちた昇天を記念し、

あなたが与えてくださったたまものの中から、

清く、聖なる、汚れのないいけにえ、

永遠のいのちのパンと救いの杯を、

栄光の神、あなたにささげます。

このささげものをいつくしみ深く顧み、快く受け入れてください。

義人アベルの供えもの、

太祖アブラハムのいけにえ、

また、大祭司メルキセデクが供えた聖なるささげもの、

汚れのないいけにえを受け入れてくださったように。

手を合わせ、少し身をかがめて続ける。

全能の神よ、つつしんでお願いいたします。

このささげものをみ使いによって、

あなたの栄光に輝く祭壇に運ばせてください。

いま、この祭壇で、

御子の聖なるからだと血にあずかるわたしたちが、

身を起こして**自分自身に十字架のしるしをしながら言う。**

天の祝福と恵みで満たされますように。

手を合わせる。

(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

死者のための祈り

手を広げて唱える。

聖なる父よ、

信仰をもつてわたしたちに先だち、

安らかに眠る人々（○○○○）を心に留めてください。

ここで手を合わせ、祈りをささげようとする死者のためにしばらく祈る。

その後、手を広げて続ける。

神よ、この人々とキリストのうちに眠りについたすべての人に、

慰めと光と安らぎをお与えください。

手を合わせる。

（わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。）

手を合わせたまま頭を少し下げて続ける。

あなたの豊かなあわれみに信頼する罪深いわたしたちを、

手を広げて続ける。（ ）の部分は省くことができる。

使徒と殉教者の集いに受け入れてください。

洗礼者ヨハネ、ステファノ、マチア、バルナバ、

（イグナチオ、アレキサンドロ、マルチェリノとペトロ、

フェリチタス、ペルペトウア、アガタ、ルチア、

アグネス、セシリア、アナスタシア

そして、すべての聖人にならう恵みを、

わたしたちの行いによるのではなく、

あなたのあわれみによってお与えください。

手を合わせて続ける。

聖なる父よ、

キリストによって、あなたは常にこのよいものを造り、

聖なるものとし、これにいのちを与え、祝福し、

わたしたちに与えてくださいます。

司祭はホステアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

キリストによってキリストとともにキリストのうちに、
聖霊の交わりの中で、

全能の神、父であるあなたに、

すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆ははつきりと唱える。

会衆 アーメン。

第二奉献文

固有の叙唱が定められているが、他の叙唱、とくに救いの秘義をふさわしく表す叙唱（たとえば、共通の叙唱）とともにこの奉献文を用いることもできる。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

聖なる父よ、

最愛の子イエス・キリストを通して、

いつでもでもあなたに感謝をささげることは、

まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたはみことばによってすべてをお造りになりました。

みことばである御子は、

救い主、あがない主としてわたしたちに遣わされ、

聖霊によって人となり、おとめマリアから生まれ、

み旨を果たして、人々をあなたの**聖なる民**とするために、

手を広げて苦難に身をゆだね、

死を滅ぼして復活の栄光を**現してくださいました**。

わたしたちは声を合わせて歌います、

天使とすべての聖人とともに、

あなたの栄光をたたえて。

一同 聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

感謝の賛歌（サンクトゥス）の後、司祭は手を広げて唱える。

まことに聖なる神、すべての聖性の源である父よ、

手を合わせる。

そして、供えものの上に両手を伸べたまま唱える。

いま、聖霊を注ぎ、

この供えものを聖なるものとしてください。

手を合わせる。

そして、パンとカリスの上に十字架のしるしをしながら唱える。

わたしたちのために、

主イエス・キリストの御からだに**✠**御血になりますように。

手を合わせる。次の式文中の主のことばは、その意味が伝わるように、特にはつきりと唱える。歌う場合は、（である）を省く。

主イエスはすすんで受難に向かう前に、

パンを取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

パンを取り、

感謝をささげ、裂いて、

弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される

わたしのからだである。」

聖別されたホステアを会衆に示した後、パテナの上に置き、手を合わせて深く礼をする。そして続ける。

食事の後に

カリスを取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

同じように杯を取り、
感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを受けて飲みなさい。

これはわたしの血の杯、

あなたがたと多くの人のために流されて

罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（）である。」

これをわたしの記念として行いなさい。」

カリスを会衆に示した後、コルポラーレの上に置き、手を合わせて深く礼をする。

続いて、司祭は唱える。

司祭 信仰の神秘。

歌集は以下のいずれかのことばをはっきりと唱える。

会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。
再び来られるときまで。

または

会衆 主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

会衆 十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、
わたしたちをお救いください。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父よ、

わたしたちはいま、主イエスの死と復活の記念を行い、

み前であなたに奉仕できることを感謝し、

いのちのパンと救いの杯をささげます。

キリストの御からだと御血にとともにあずかるわたしたちが、

聖霊によって一つに結ばれますように。

世界に広がるあなたの教会を思い起こし、

教皇○○○○、

わたしたちの司教○○○○、
(補佐司教の名を加えることができる)

すべての奉仕者とともに、

あなたの民をまことの愛で満たしてください。

死者のためのミサの場合は、次の祈りを加えることができる。

(きょう) この世からあなたのもとに召された

○○○○ (姓名) を心に留めてください。

洗礼によつてキリストの死に結ばれた者が、
その復活にも結ばれますように。

また、復活の希望をもつて眠りについたわたしたちの兄弟姉妹と、

あなたのいつくしみのうちに亡くなったすべての人を心に留め、

あなたの光の中に受け入れてください。

いま、ここに集うわたしたちをあわれみ、

神の母おとめマリアと聖ヨセフ、

使徒とすべての時代の聖人とともに、

永遠のいのちにあずからせてください。

手を合わせる。

御子イエス・キリストを通して、

あなたをほめたたえることができますように。

司祭はホステイアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

司祭

キリストによつてキリストとともにキリストのうちに、

聖霊の交わりの中で、

全能の神、父であるあなたに、

すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆ははつきりと唱える。

会衆

アーメン。

第三奉献文

感謝の賛歌の後、司祭は両手を広げて唱える。

まことに聖なる父よ、

造られたものはすべて、あなたをほめたたえています。

御子わたしたちの主イエス・キリストを通して、

聖霊の力強い働きにより、

すべてにいのちを与え、**聖なるもの**とし、

たえず人々をあなたの民としてお集めになるからです。

日の昇る所から日の沈む所まで、

あなたに清いささげものが供えられるために。

手を合わせる。そして、供えものの上に両手を伸べたまま唱える。

聖なる父よ、

あなたにささげるこの供えものを、
いま、聖霊によって聖なるものとしてください。

手を合わせる。そして、パンとカリスの上に十字架のしるしをしながら唱える。

御子わたしたちの主イエス・キリストの
御からだと✠御血になりますように。

手を合わせる。

キリストのことばに従って、いま、わたしたちはこの神秘を祝います。

次の式文中の主のことばは、その意味が伝わるように、特にはっきりと唱える。
歌う場合は（である）を省く。

主イエスは渡される夜、

パンを取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

パンを取り、

あなたに賛美と感謝をささげ、裂いて、

弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される

わたしのからだ(である)。」

聖別されたホステアを会衆に示した後、パテナの上に置き、手を合わせて深く礼をする。そして続ける。

食事の後に

カリスを取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

同じように杯を取り、

あなたに賛美と感謝をささげ、

弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを受けて飲みなさい。

これはわたしの血の杯、

あなたがたと多くの人のために流されて

罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血()である。

これをわたしの記念として行いなさい。」

カリスを会衆に示した後、コルポラーレの上に置き、手を合わせて深く礼をする。
続いて、司祭は唱える。

司祭
信仰の神秘。

会衆は以下のいずれかのことばをはっきりと唱える。

会衆
主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。

再び来られるときまで。

または

主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、
わたしたちをお救いください。

聖なる父よ、
司祭は手を広げて唱える。

わたしたちはいま、

御子キリストの救いをもたらす受難、復活、昇天を記念し、

その再臨を待ち望み、

いのちに満ちたこの**聖なる**いけにえを

感謝してささげます。

あなたの教会のささげものを顧み、

まことの和解のいけにえとして認め、受け入れてください。

御子キリストの御からだと御血によってわたしたちが養われ、

聖霊に満たされて、

キリストのうちに、一つのからだ、一つの心となりますように。

聖霊によって**わたしたちを、**

あなたにささげられた永遠の**供えもの**としてください。

選ばれた人々、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、

使徒と殉教者、（聖〇〇〇〇、（その日の聖人または保護の聖人名））

すべての聖人とともに神の国を継ぎ、

その取り次ぎによつてたえず助けられますように。

わたしたちの罪のゆるしとなるこのいけにえが、

全世界の平和と救いのためになりますように。

地上を旅するあなたの教会、

教皇〇〇〇〇、

わたしたちの司教〇〇〇〇、（補佐司教の名を加えることができる）

司教団とすべての奉仕者を導き、

あなたの民となったすべての人の信仰と愛を強めてください。

あなたがここにお集めになったこの家族の願いを聞き入れてください。

いつくしみ深い父よ、

あなたの子がどこにいても、すべてあなたのもとに呼び寄せてください。

亡くなったわたしたちの**兄弟姉妹**、

また、み旨に従って生活し、いまはこの世を去ったすべての人を、

あなたの国に受け入れてください。

わたしたちもいつかその国で、

いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、

喜びに満たされますように。

手を合わせる。

わたしたちの主イエス・キリストを通して、

あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。

死者のためのミサがささげられる場合は、次の祈りを唱えることができる。

(きょう、) この世からあなたのもとに召された

〇〇〇〇 (姓名) を心に留めてください。

洗礼によつてキリストの死にあずかった者が、その復活にもあずかることができますように。

キリストは死者を復活させるとき、

滅びゆくわたしたちのからだを、

ご自分の栄光のからだに変えてくださいます。

また、亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、

み旨に従つて生活し、いまはこの世を去つたすべての人を、

あなたの国に受け入れてください。

わたしたちもいつかその国で、

いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、

喜びに満たされますように。

そのときあなたは、わたしたちの目から涙をすべてぬぐい去り、わたしたちは神であるあなたをありのままに見て、永遠にあなたに似るものとなり、終わりなくあなたをたたえることができます。

手を合わせる

わたしたちの主イエス・キリストを通して、

あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。

司祭はホステアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

司祭

キリストによってキリストとともにキリストのうちに、

聖霊の交わりの中で、

全能の神、父であるあなたに、

すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆はつきりと唱える。

会衆

アーメン。

第四奉献文

救いの歴史の要約を示すというこの奉献文の構造上の理由から、この奉献文の叙唱を他の叙唱と代えることはできない。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

聖なる父よ、

あなたの偉大なわざをたたえ、感謝をささげることは、
まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたは唯一のまことの神、
初めもなく終わりもなく、すべてを超えて光り輝くかた。

あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。

造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。

数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、

栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。

わたしたちはこれに声を合わせ、

造られたすべてのものとともに、あなたをたたえて歌います。

聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父、偉大な神よ、あなたをたたえます。

あなたは、英知と愛によつてすべてのわざを行われました。

ご自分にかたどつて人を造り、

造り主であるあなたに仕え、造られたものをすべて治めるよう、

全世界を人の手におゆだねになりました。

人があなたにそむいて親しい交わりを失つてからも、

死の支配のもとにおくことなく、

すべての人があなたを求めて見いだすことができるよう、

いつくしみの手を差し伸べられました。

また、たびたび人と契約を結び、

預言者を通して、救いを待ち望むよう励ましてくださいました。

時が満ちると、あなたはひとり子を救い主としてお遣わしになりました。

聖なる父よ、あなたはこれほど世を愛して下さったのです。

御ひとり子は聖霊によつて人となり、

おとめマリアから生まれ、

罪のほかは、

すべてにおいてわたしたちと同じものとなりました。

貧しい人には救いの福音を告げ、

とらわれ人には自由を、

悲しむ人には喜びをもたらし、

あなたの計画を実現するため、

死に身をゆだね、

死者のうちから復活して死を滅ぼし、

いのちを新しくしてくださいました。

わたしたちが自分に生きるのではなく、

わたしたちのために死んで復活されたキリストに生きるために、

父よ、御子は信じる者に最初のたまものとして

あなたのもとから聖霊を遣わしてくださいました。

聖霊は、世にあつてキリストの救いを全うし、

聖なるものとするわざをすべて完成してくださいます。

手を合わせる。

そして、供えものの上に両手を伸べたまま唱える。

いつくしみ深い父よ、

聖霊によってこの供えものを聖なるものとしてください。

手を合わせる。

キリストが永遠の契約としてわたしたちに残された

この偉大な神祕を祝うために、

パンとカリスの上に十字架のしるしをしながら唱える。

主イエス・キリストの

御からだに ✠ 御血になりますように。

手を合わせる。

次の式文中の主のことばは、その意味が伝わるように、特にはつきりと唱える。歌う場合は、(である)を省く。

聖なる父よ、

世にいる弟子を愛しておられたイエスは、

あなたから栄光を受ける時が来たことを知り、
彼らを限りなく愛されました。

パンを取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

主イエスは、

食事をとる間にパンを取り、

賛美をささげ、

裂いて、弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される
わたしのからだ(である)。」

聖別されたホステアを会衆に示した後、パテナの上に置き、手を合わせて深く礼をする。そして続ける。

同じように

カリスを取り、祭壇上に少し持ち上げて続ける。

ぶどう酒の満ちた杯を取り、感謝をささげ、

弟子に与えて仰せになりました。

少し身をかがめて唱える。

「皆、これを受けて飲みなさい。

これはわたしの血の杯、

あなたがたと多くの人のために流されて

罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血()である。」

これをわたしの記念として行いなさい。」

カリスを会衆に示した後、コルポラーレの上に置き、手を合わせて深く礼をする。続いて、司祭は唱える。

信仰の神秘。

会衆は以下のいずれかのことばをはっきりと唱える。

主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。
再び来られるときまで。

または

主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、
わたしたちをお救いください。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父よ、
わたしたちはいま、あがないの記念をともに行い、
キリストの死と、陰府に下られたことを思い起こし、
その復活と、あなたの右に上げられたことを宣言します。

主が栄光のうちに来られる日を待ち望み、
あなたに受け入れられ、全世界の救いとなるこのいけにえ、
キリストの御からだと御血をささげます。

父よ、

あなたが教会にお与えになったこのいけにえを顧み、
この一つのパンと杯を分かち合うすべての人を、
聖霊によって一つのからだに集めてください。

キリストのうちにあって、

あなたの栄光をたたえる生きたささげものとなりますように。

父よ、

すべての人を心に留めてください。

その人々のために、この供えものをささげます。

教皇○○○○をはじめ、

わたしたちの司教○○○○、
(補佐司教の名を加えることができる)

司教団とすべての奉仕者、

ここに集う人々、

あなたの民と、神を求めるすべての人、

また、キリストを信じて亡くなった人、

あなただけがその信仰を知っておられる

すべての死者を心に留めてください。

いつくしみ深い父よ、

あなたの子であるわたしたちすべてを顧み、

神の母おとめマリアと聖ヨセフ、

使徒と聖人とともに、

あなたの国で、約束されたいのちにあずからせてください。

その国で、罪と死の腐敗から解放された宇宙万物とともに、

主キリストによって、あなたの栄光をたたえることができますように。

手を合わせる。

わたしたちの主イエス・キリストを通して、

あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。

司祭はホステリアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

司祭 キリストによってキリストとともにキリストのうちに、

聖霊の交わりの中で、

全能の神、父であるあなたに、

すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆ははつきりと唱える。

会衆
アーメン。

交わりの儀（コムニオ）

主の祈り

司祭はカリスとパテナを置いてから、手を合わせ、たとえば次のようなことばで会衆を主の祈りに招く。

司祭

主の教えを守り、みことばに従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。

または

わたしたちにいのちの糧を与えてくださる天の父をたたえて祈りましょう。

または

イエスは、神を父と呼ぶよう教えてくださいました。信頼をもって主の祈りを唱えましょう。

または

キリストのいのちを受けて一つになることができるよう、
主の祈りをささげましょう。

司祭は手を広げて会衆とともに唱える。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしくください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

司祭は手を広げたまま一人で続ける。

司祭

いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、
世界に平和をお与えください。

あなたのあわれみに支えられて、罪から**解放**され、
すべての困難に打ち勝つことができますように。

わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを
待ち望んでいます。

手を合わせる。

会衆は次のことばをはっきりと唱えて祈りを結ぶ。

会衆

国と力と栄光は、**永遠**にあなたのもの。

教会に平和を願う祈り

司祭は手を広げてはつきりと唱える。

司祭

主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。

「わたしは平和を残し、わたしの平和をあなたがたに与える。」

主よ、わたしたちの罪ではなく、教会の信仰を顧み、

おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。

司祭は手を合わせる。

司祭

あなたはまことのいのち、すべてを導かれる神、世々としえに。

会衆は答える。

会衆

アーメン。

平和のあいさつ

司祭は会衆に向かって手を広げ、次のことばを述べてから手を合わせる。

司祭 主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆は答える。

会衆 またあなたとともに。

状況に応じて、助祭または司祭は、次のように言う。

司祭 互いに平和のあいさつを交わしましょう。

一同は平和と一致と愛を示すために、地域の慣習に従って互いにあいさつを交わす。
司祭は助祭あるいは奉仕者とあいさつを交わす。

パンの分割

司祭はホステイアを取ってパテナの上で裂き、小片をカリスの中に入れて、静かに唱える。

いま、ここに一つとなる主イエス・キリストの御からだと御血によって、わたしたちが永遠のいのちに導かれますように。

平和の賛歌(アニウス・デイ)

パンが裂かれている間に、平和の賛歌(アニウス・デイ)を歌うか、または唱える。

世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。
世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。
世の罪を取り除く神の小羊、平和をわたしたちに。

パンを裂くために時間がかかる場合、何度か繰り返し返すことができる。
最後に「平和をわたしたちに」で結ぶ。

拝領前の祈り

司祭は手を合わせて静かに唱える。

生ける神の子、主イエス・キリスト、

あなたは父のみ心に従い、**聖霊の力**に支えられ、
死を通して世にいのちをお与えになりました。

この**聖なる**からだと血によってすべての罪と悪からわたしたちを解放し、

あなたのおきてをいつも守り、

あなたから離れることのないようにしてください。

または

主イエス・キリスト、

あなたの**御からだ**と**御血**をいただくことによって、

裁きを受けることなく、

かえってあなたをいつくしみにより、

心とからだが守られ、強められますように。

拝領前の信仰告白

司祭は手を合わせて深く礼をしてから、ホステイアを取り、パテナあるいはカリスを添えて少し持ち上げ、会衆に向かってはつきりと唱える。

司祭 世の罪を取り除く神の小羊。

神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。

続いて会衆とともに唱える。

会衆 主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。

おことばをいただくだけで救われます。

または

主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、

あなたをおいてだれのところに行きましよう。

司祭の拝領

司祭は祭壇に向かい、静かに唱える。

キリストの御からだは、永遠のいのちの糧になりますように。

そしてキリストの御からだを拝領する。

続いて、カリスを手に取り、静かに唱える。

キリストの御血が、永遠のいのちの糧になりますように。

そしてキリストの御血を拝領する。

信者の拝領

その後、司祭はパテナまたはピクシス（チボリウム）を持って拝領者に近づく。そして、ホステアを取って拝領者一人ひとりに示して言う。

司祭 キリストの御からだ。

拝領者は答える。

会衆 アーメン。

そして拝領する。助祭が授ける場合も同様にする。両形態による拝領を行う場合は、定められた方法（「日本におけるミサ中の聖体拝領の方法に関する指針」参照）に従う。司祭がキリストの御からだを拝領している間に、拝領の歌を始める。聖体の授与が終わると、司祭、助祭、または祭壇奉仕者はカリスの上で、ペナをふき、カリスをすすぐ。その間に、司祭は静かに唱える。

主よ、口でいただいたものを清い心をもって受け入れることができますように。
このたまものによって、永遠のいのちに導かれますように。

その後、司祭は席に戻ることができる。拝領後、一同はしばらく聖なる沈黙のうちに祈る。適当であれば、詩編か他の賛美の歌、もしくは賛歌を歌うことができる。

拝領祈願

司祭は祭壇または自分の席で会衆に向かって立ち、手を合わせて言う。

司祭 祈りましょう。

一同は司祭とともにしばらく沈黙のうちに祈る。続いて、司祭は手を広げて拝領祈願を唱え、会衆はその結びにはつきりと唱える。

会衆 アーメン。

閉祭

お知らせ

必要があれば、会衆への短いお知らせが行われる。

派遣の祝福

続いて派遣が行われる。司祭は会衆に向かって手を広げて言う。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆は答える。

会衆 またあなたとともに。

司祭は会衆を祝福して唱える。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にありますように。

会衆は答える。

会衆 アーメン。

一定の日や状況によっては、上記の祝福のことばの前に、典札注記に従って他のより荘厳な祝福、あるいは「会衆のための祈願」が行われる（89ページ参照）。

司教が司式するミサでは、司式司教はミトラを着け、手を広げて唱える。

司教 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司教 主のみ名がいつもたたえられますように。

会衆 いまよりとこしえに。

司教 主のみ名はわたしたちの助け。

会衆 主は天地の造り主。

バクルスを用いている場合、司教はここで受け取り、会衆の上に三度、十字架のしるしをしながら唱える。

司教 全能の神、父と✠子と✠聖霊の✠祝福が皆さんの上にありますように。

会衆は答える。

会衆 アーメン。

閉祭のことば

助祭または司祭は手を合わせて会衆に向かって言う。

司祭 感謝の祭儀を終わります。行きましよう、主の平和のうちに。

または

(感謝の祭儀を終わります。)

行きましよう、主の福音を告げ知らせるために。

または

(感謝の祭儀を終わります。)

平和のうちに行きましよう、日々の生活の中で主の栄光をあらわすために。

会衆は答える。

会衆 神に感謝。

退堂

開祭のときと同じように、司祭は祭壇に近づき、両手で祭壇に触れながら深く礼をして表敬する。その後、祭壇の前で奉仕者とともに手を合わせて深く礼をしてから退堂する。

他の祭儀が続く場合、派遣の式は省かれる。

ミサの結びの祝福と会衆のための祈願

荘厳な祝福

以下の祝福は、ミサ、あるいはことばの典礼、教会の祈り（時課の典礼）、諸秘跡の祭儀の各結びに、司祭が任意で用いることができる。助祭、あるいは助祭が不在の場合は司祭自身が、「祝福を受けるために頭を下げて祈りましょう」と招きのことばを述べる。続いて、司祭は会衆の上に両手を伸べて祝福のことばを唱え、会衆は「アーメン」と答える。

I・季節の祭儀

1 待降節

司祭 わたしたちはひとり子の到来を信じ、その再臨を待ち望んでいます。

全能の神、あわれみ深い父が、

近づいて来られるひとり子の輝きによって皆さんを聖なる者とし、

祝福で満たしてくださいように。

会衆 アーメン。

司祭 日々の生活の中で、神が皆さんに揺るぎない信仰を与え、

希望をもって生きる喜びと、

尽きることはない愛で満たしてくださいように。

会衆
アーメン。

司祭
救い主の栄光に満ちた再臨のとき、

神が皆さんに、永遠のいのちの恵みを豊かに与えてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭
全能の神、

父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆
アーメン。

2 降誕節

司祭
いつくしみ深い神は、

イエスの栄光に満ちた誕生によって世の闇を取り除き、

この聖なる夜（日）を照らしてくださいます。

神が皆さんを罪の暗闇から解放し、

御子の輝きで満たしてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭
天使によって、

羊飼いに救い主の誕生を告げることをお望みになった神が、

皆さんの心を喜びで満たし、福音をのべ伝える者としてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭
ひとり子の受肉によって天と地を結んでくださった神が、

皆さんにみ心を行う恵みと平和を豊かに与え、

天の教会の喜びにあずかせてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭
全能の神、

父と子と聖霊の祝福が **✠**皆さんの上にいつもありますように。

会衆
アーメン。

3年の初め

司祭
あらゆる祝福の源である神が、

皆さんを豊かな恵みと祝福で満たし、

この一年を通してたえず見守ってくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭
神が、皆さんの信仰を清く保ち、

揺るぎない希望と最後まで耐え忍ぶ愛を与えてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 神が、皆さんの生活と働きを平和のうちに保ち、

祈りを聞き入れ、永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 全能の神、

父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆
アーメン。

4 主の公現

司祭 闇から光に招いてくださった神が、

祝福を豊かに注ぎ、

信仰、希望、愛によって皆さんの心を強めてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 皆さんが、きょう、世界を照らす光として現れたキリストに従い、

人々を照らす光となることができますように。

会衆
アーメン。

司祭 星に導かれ、まことの光キリストを見いだした博士たちのように、

皆さんも、喜びのうちに主キリストを見いだすことができますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、

父と子と聖霊の祝福が **✠**皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

5 主の受難

司祭 いくしき深い父から遣わされたひとり子は、

その受難によって愛の模範を示してくださいました。

皆さんが神と人々に仕えることによって、

豊かな祝福を受けることができますように。

会衆 アーメン。

司祭 キリストの死によって永遠の死から救われた皆さんが、

永遠のいのちにあずかることができますように。

会衆 アーメン。

司祭 が、自らを低くされたイエスにならない、

その復活の栄光にともにあずかることができますように。

会衆
アーメン。

司祭
全能の神、

父と子と聖霊の祝福が✠皆さんのの上にもありますように。

会衆
アーメン。

6 復活節

司祭
ひとり子の復活によって皆さんをあがない、

ご自分の子としてくださった神が、

皆さんを祝福し、喜びで満たしてくださいように。

会衆
アーメン。

司祭
すべての人をあがない、まことの自由を与えてくださった神が、

皆さんを祝福し、天の国を受け継ぐ者としてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭
信仰をもって洗礼を受け、新しいのちに満たされた皆さんが、

み心にかなう生活を送り、御父のもとに迎えられますように。

会衆
アーメン。

司祭 全能の神、

父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

7 主の昇天

司祭 きょう、御ひとり子を天に上げられた神が、

皆さんを祝福し、キリストのもとに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 復活の後、弟子たちに現れたキリストが、

再び来られるときも、

皆さんに変わることのないいつくしみを示してくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 栄光のうちに御父のもとに座しておられるキリストが、

約束されたとおり、世の終わりまで皆さんとともにいてくださり、

救いの喜びを味わわせてくださいますように。

会衆 司祭 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆
アーメン。

8 聖霊

司祭 光の源である神は、

弟子たちに聖霊を注ぎ、その心を照らしてくださいました。

神が皆さんを祝福し、喜びで満たし、

聖霊のたまものを豊かに与えてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 弟子たちの上に注がれた聖霊の火が、皆さんをあらゆる悪から清め、

その輝きによって照らしてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 ことばの異なる人々を唯一の信仰告白へと導いてくださった聖霊が、

皆さんの信仰を強め、希望を揺るぎないものとしてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が、皆さんの上にもありますように。

会衆
アーメン。

9年間一

司祭 神が皆さんを祝福し、守ってくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 神がみ顔の輝きで皆さんを照らし、恵みで満たしてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 神がみ顔を皆さんに向け、その平和を与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

10年間二

司祭 人の知恵をはるかに超える神の平和が、皆さんの心と思いを満たし、

御父とひとり子キリストを知り、

愛する恵みを与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

11 年間三

司祭 いくしき深い神が皆さんを祝福し、

救いに導く知恵を与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 神が信仰の恵みで皆さんを支え、

み心を行う恵みで満たしてくださいように。

会衆 アーメン。

司祭 神が平和と愛の道を示し、

皆さんをご自分のもとに立ち返らせてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

12 年間四

司祭 慰めの源である神が、世界をまことの平和に導き、

皆さんに祝福を与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 神が、皆さんをあらゆる困難から解放し、

一人ひとりの心を、

愛のうちに揺るぎないものとしてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 皆さんが、信仰、希望、愛のたまものを豊かに受け、

この世においてよいわざを行い、

永遠の喜びを見いだすことができますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

13 年間五

司祭 全能の神が、あらゆる困難から皆さんを守り、

いつくしみをもって祝福してくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 皆さんが神の語りかけを心から受け入れ、

変わることはない喜びで満たされますように。

会衆
アーメン。

司祭 神が示してくださる正しい道を皆さんがいつも歩み、

神の国を受け継ぐことができますように。

会衆
アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆
アーメン。

14
年間六

司祭 神が、天のあらゆる祝福で皆さんを満たし、

聖なる者、汚れのない者としてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 神がその栄光を豊かに注ぎ、

真理のことばによって導き、救いの福音によって教え、

互いに愛し合う心を与えてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆
アーメン。

Ⅱ．聖人の祭儀

15 聖母マリア

司祭 おとめマリアから生まれたひとり子によって、

全人類を救ってくださった神が、

皆さんに豊かな祝福を与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 いのちの源である主キリストを産み育てたマリアの愛を、

皆さんがいつどこにいても感じとることが出来ますように。

会衆 アーメン。

司祭 聖母マリアの祝日に集まった皆さんが、

天の喜びと恵みで満たされますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

16 聖ペトロ聖パウロ

司祭 ペトロの信仰告白を礎として教会を建ててくださった全能の神が、

皆さんに揺るぎない信仰を与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 ひるむことなく宣教に励んだパウロのように、

皆さんが、人々をキリストのもとに導くことができますように。

会衆 アーメン。

司祭 ペトロとパウロの殉教を記念する皆さんが、

二人の使徒の取り次ぎに支えられて信仰の道を歩み、

天の喜びにあずかることができますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

17 使徒

司祭 使徒たちを礎として教会を築いてくださった神が、

聖〇〇〇〇の取り次ぎを願う皆さんを、

祝福してくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 使徒たちの教えと模範によって教会を強めてくださる神が、

皆さんをキリストの証人としてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 使徒たちの教えによって信仰を固めてくださった神が、

皆さんを永遠の住まいへと導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

18 聖人

司祭 聖人の誉れと喜びである神が、皆さんを豊かな祝福で満たし、

強めてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 聖人の取り次ぎによって、皆さんがこの世の悪から解放され、

その聖なる生活を模範とし、

神と人々に心から仕える者となりますように。

会衆 アーメン。

司祭 地上を旅する教会が、天の集いに迎えられ、

すべての聖人とともに、永遠の喜びを味わうことができますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にもありますように。

会衆 アーメン。

Ⅲ. その他の祝福

19 教会 献堂

司祭 きょう、献堂の祝いに招いてくださった神が、

皆さんを天の祝福で満たしてくださいますように。

会衆 アーメン。

司祭 すべての人を御子のうちに一つに集めてくださる神が、

皆さんを聖霊の神殿としてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 清い心を与えてくださる神が、

をすべての聖人とともに、

永遠のいのちを受け継ぐ者としてくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆
アーメン。

20 死者

司祭 神は、限らないいつくしみによって人間を造り、

ひとり子の復活によって、人類に復活の希望を与えてくださいました。

慰めの源である神が、皆さんを祝福してくださいますように。

会衆
アーメン。

司祭 地上を旅するわたしたちの心がいやされ、

亡くなったすべての人に永遠のいのちが与えられますように。

会衆
アーメン。

司祭 キリストの復活を信じるわたしたちが、

主とともに終わりなく生きることが出来ますように。

会衆 アーメン。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように。

会衆 アーメン。

会衆のための祈願

以下の祈願は、ミサ、あるいはことばの典礼、教会の祈り（時課の典礼）、諸秘跡の祭儀の各結ぶに、司祭が任意で用いることができる。

助祭、あるいは助祭が不在の場合は司祭自身が、次のような招きのことばを述べる。「祝福を受けるために頭を下げて祈りましょう」。続いて、司祭は会衆の上に両手を伸べて祝福のことばを唱え、会衆は「アーメン」と答える。

その後、司祭はつねに次のことばを唱える。「全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠皆さんの上にいつもありますように」。会衆は「アーメン」と答える。

1 神よ、あなたの民にいつくしみを注いでください。

日々の生活をいつも見守り、永遠のいのちに導いてくださいますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

2 神よ、あなたの民を顧みてください。

キリストの福音を深く悟り、
日々の典礼の喜びを深めることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

3 神よ、あなたの民を祝福してください。

あらゆる過ちから守られ、一人ひとりの願いが実現しますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

4 神よ、あなたの民をまことの回心に導いてください。

罪をゆるされた民が、心からあなたを愛することができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

5 神よ、あなたの家族を照らしてください。

み心に従い、正しい行いに励むことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

6 神よ、あなたの民にゆるしと平和を与えてください。

あらゆる過ちを退け、
清い心であなたをたえず求めることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

7 神よ、あなたに従う民を顧み、

天の祝福で満たし、成長させてください。
たえずみ旨を行うことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

8 神よ、あなたの民にいつくしみを注いでください。

わたしたちが悪から解放され、心からあなたに仕え、
いつも恵みに守られて生きることができますように。

9 わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。
神よ、あなたの家族を力づけてください。

救いのみわざを喜びのうちに祝ったわたしたちが、
その恵みにたえずこたえて生きることが出来ますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

10 神よ、あなたの民をいつくしみのうちに守ってください。

あなたの祝福によって豊かにされ、
いつも感謝をもって喜びのうちに生きることが出来ますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

11 神よ、あなたの家族に愛を注ぎ、支えてください。

あらゆる災いから守られ、
み心にかなう行いをもってあなたに仕えることが出来ますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

12 神よ、あなたを信じる民の心とからだを清めてください。

聖霊の息吹に強められ、悪の誘惑に打ち勝ち、
あなたのいづくしみを味わうことができますように。
の主イエス・キリストによつて。アーメン。

13
よ、あなたを信じる人々を祝福し、豊かな実りを与えてください。
一人ひとりの行いが、あなたの愛の力で支えられますように。
わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

14
神よ、あなたに従う民の願いを聞き入れ、強めてください。
あなたから離れては何もできないわたしたちが、
あわれみに支えられてなすべきことを悟り、
正義を行うことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

15
神よ、あなたに祈る民を助け、
人間の弱さを顧みてください。
あなたに仕える民が、心もからだもいやされて、

喜びを味わうことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

16 神よ、あなたの家族を顧み、

尽きることはないあわれみを注いでください。

あなたを離れては何もできないわたしたちが、

あなたのいつくしみによって救いの道を歩むことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

17 神よ、信じる者に救いの恵みを豊かに注いでください。

わたしたちがいまあるのは、あなたの恵みによるものです。

わたしたちが、思い、ことば、行いによって、

あなたを賛美することができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。✠

18 神よ、あなたの民にいのちの道を示してください。

悪を退け、善を求め、

あなたのあわれみをいつも受けることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

19

神よ、あなたに希望をおくわたしたちを強めてください。
正しい信仰を保ち、
恵みに満たされた生活を送り、
約束された永遠のいのちを受け継ぐことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

20

神よ、あなたの民に愛といつくしみを注いでください。
あなたによって造られた民が、
あなたによって新たにされ、救われますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

21

神よ、あなたの民の愛を強めてください。
わたしたちが悔い改めのわざに励み、
あなたから命じられたことを喜んで果たし、

約束された救いの恵みを受けることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

22

神よ、あなたに従う民の弱さを顧みてください。
あなたの豊かな愛によって、
人の思いを越える恵みを受けることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

23

神よ、力強い右の手を差し伸べ、
あなたの家族を支えてください。
わたしたちがみ心に従い、
いづくしみに満ちた愛によってたえず守られますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

24

神よ、あなたの家族の祈りを聞き入れ、
必要な力と助けを与えてください。
たえずあなたの名をたたえることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

25

神よ、あなたの家族を見守り、

あわれみを注いでください。

天の知恵とたまものによって満たされますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

26

神よ、

あなたの民を力強い右の手で支え、

喜びで満たしてください。

キリストの弟子として生活し、

いまもいつも、あなたのいづくしみをたたえることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

聖人の祝日に

27

神よ、キリストを信じる民を喜びで満たしてください。

聖人を記念するわたしたちが、ともに永遠のいのちを受け継ぎ、

28

あなたの栄光をたえず賛美することができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

神よ、信じる民の心をいつもあなたに向かわせてください。
聖人の取り次ぎによってわたしたちを守り、

たえず助け、導いてください。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

水の祝福と灌水

1 主日、とくに復活節の主日には、洗礼の恵みを思い起こすために、すべての教会堂と礼拝堂で、水の祝福と灌水を行うことができる。前日の土曜日の晩にささげられる主日のミサにおいても行うことができる。

ミサ中に行う場合は、初めの通常の回心の祈りの代わりに行われる。

2 司祭はあいさつの後、自席で立って会衆に向かい、これから祝福する水の入った器の前にして、たとえば次のようなことばで会衆を祈りに招く。

司祭 皆さん、神によって造られたこの水が祝福されるよう祈りましょう。

この水は、洗礼の恵みを思い起こすために、わたしたちの上に注がれます。

わたしたちが聖霊の導きに従って生きることができますように。

しばらく沈黙のうちに祈った後、司祭は手を合わせて以下の祈りを唱える。

全能永遠の神よ、

あなたは水を造り、

すべてにいのちを与え、清めてくださいます。

この水によって、わたしたちの心は罪から清められ、

永遠のいのちの恵みに満たされます。

いま、この水を祝福 ✕ してください。

わたしたちのうちにあるいのちの泉をわき出させ、

心とからだをあらゆる悪から守ってください。

清い心でみもとに近づき、

救いの恵みにふさわしくあずかることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆
アーメン。

または

司祭
いのちの源である神よ、

あなたは心とからだを生かしてください。いま、この水を祝福してください。信仰

をもってこの水を用いるわたしたちの罪をゆるし、

すべての病と悪の誘惑からお守りください。

神よ、あなたのあわれみによって、

救いをもたらすいのちの水を、

いつもわたしたちのうちにわき出させてください。

あらゆる危険から守られ、

清い心でみもとに近づぐことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆
アーメン。

復活節に

司祭 全能の神よ、

ここに集うあなたの民の祈りを聞き入れてください。

わたしたちは創造とあがないの神秘を思い起こします。

いま、この水を祝福[✠]してください。

あなたは水を造り、大地を潤して豊かに実らせ、

すべてを清め、養ってくださいました。

あなたはまた、水によっていつくしみを示してくださいました。

イスラエルの民は海を渡って解放され、

荒野では渴きをいやされ、

あなたが人と結ぼうとされた新しい契約を、

預言者は水の働きによって告げ知らせ、

キリストはヨルダン川で水を清められました。

神よ、こうしてあなたは、

罪によって死に定められた人間を、

新しいのちに導いてくださいます。

わたしたちがこの水によって自らの洗礼を思い起こし、

復活祭に洗礼を受けた人々とともに、
喜びを分かち合うことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。
会衆
アーメン。

司祭
全能の神よ、
3 聖水に塩を混ぜることが適当と思われるなら、司祭は任意で塩を祝福することができます。

この塩を祝福~~×~~してください。
預言者エリシヤは水に塩を混ぜて水を清めました。
この塩と水が注がれる所はどこでも、
あらゆる悪が退けられ、
そこにとどまる聖霊によってわたしたちが守られますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆
アーメン。

司祭は沈黙のうちに少量の塩を聖水に混ぜる。

4 続いて、司祭は祝福された水に右手をひたし、自らに十字架のしるしをする。その後、灌水器を取り、奉仕者と会衆に灌水する。適当なら、教会堂内を回って灌水する。その間、次の中から一つを歌う。あるいは他のふさわしい歌を歌う。復活節以外のときに

交唱1 (詩編51・9)

ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください、わたしが清くなるように。
わたしを洗ってください、雪よりも白くなるように。

交唱2 (エゼキエル36・25-26)

わたしが清い水をお前たちの上に振りかけるとき、
あなたがたは清められる。
わたしはあなたがたを、すべての汚れから清める。
わたしはあなたがたに新しい心を与える、と主は言われる。

賛歌 (一ペトロ1・3-5参照)

わたしたちの主イエス・キリストの父である神が、

ほめたたえられますように。

神は豊かなあわれみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、

わたしたちのために天に蓄えられている、朽ちることのない財産を受け継ぐ者としてくださいました。終わりの時に救いを受けるために。

復活節に

交唱 1 (エゼキエル 47・1-2、9 参照)

わたしは神殿の右側から水がわき上がるのを見た。アレルヤ。この水が流れる所では、すべての人が救われて、声を上げる。アレルヤ、アレルヤ。

交唱 2 (ゼファニア 3・8、エゼキエル 36・25 参照)

わたしが立ち上がる日、わたしは諸国の民を集め、

もろもろの王国を呼び寄せる、と主は言われる。アレルヤ。
わたしは清い水をお前たちの上に振りかける。アレルヤ。

交唱 3 (ダニエル 3・77、79 参照)

泉と水に動くすべてのものよ、主を賛美せよ。アレルヤ。

交唱 4 (一ペトロ 2・9)

あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民です。
それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと
招き入れてくださったかたの力あるわざを、
あなたがたが広く伝えるためなのです。

交唱 5

キリストよ、あなたの脇腹から流れた水によって、
世の汚れが清められ、いのちが新たにされた。アレルヤ。 93

5 司祭は席に戻り、歌が終わると会衆に向かって立ち、手を合わせて言う。

司祭 全能の神が、わたしたちを罪から清め、

この感謝の祭儀を通して、

天の国の食卓にあずかる恵みを与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

または

司祭 全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、

永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

6 続いて、定められているなら、一同は栄光の賛歌（グロリア）を歌うか唱える。

4. 公式祈願の結びの定句

集会祈願

- ① 祈りが御父に向かう場合
聖霊による一致のうちに、
あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。
- ② 祈りが御父に向かうが、結びが御子に言及されている場合
主キリストは、聖霊による一致のうちに、
あなたとともに神であり、生きて、治めておられます。
世々とこしえに。アーメン。
- ③ 祈りが御子に向かう場合
あなたは、聖霊による一致のうちに、
御父とともに神であり、生きて、治めておられます。
世々とこしえに。アーメン。

奉納祈願

① 祈りが御父に向かう場合
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

② 祈りが御父に向かうが、結びが御子に言及されている場合
主キリストは生きて、治めておられます。世々とこしえに。アーメン。

拝領祈願

① 祈りが御父に向かう場合
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

② 祈りが御父に向かうが、結びが御子に言及されている場合
主キリストは生きて、治めておられます。世々とこしえに。アーメン。

③ 祈りが御子に向かう場合
あなたは生きて、治めておられます。世々とこしえに。アーメン。